

加西市役所の令和2年度の体制について



高見 博道 議員
(令和新風加西)

問 令和2年度の加西市の体制は、新たに3人の理事を配置した形でスタートしたが、3人の理事を配置した狙い、役割は。

答 現在加西市における特に重要な課題に対応するため、3名の理事を設置しました。

観光担当理事は加西市観光まちづくり協会の組織体制の強化、戦争遺産を初めとする歴史文化遺産やスポーツ振興と連携した新たな観光振興、また国内外を問わず多くの観光客の呼び込みによる経済

効果の創出に取り組むことを目的としています。

行革・病院改築担当理事は、新たな行財政改革プランの策定に当たり、現在策定中の第6次加西市総合計画など関連する計画や各部門、部署間の連携調整を図ります。また、加西病院の改築に関し、建設事業に係る情報を共有し、財政上の支援を検討し、そして公立病院に求められる行政機能の役割として、施政方針が適切に反映されるよう病院と市長部局が相互連携を図るための調整役を担っています。

開発調整担当理事は、現在整備中の加西インター周辺産業団地に関して、企業誘致を一層推進するため、兵庫県産業労働部やその外郭団体である公益法人ひょうご産業活性化センターとのパイプ役を担うとともに、県事業である国道372号線加西バイパスの早期実現

に向けて、県との調整を行っていくことを目的としています。

問 昨年、産業団地の開発に関して専門性の高い任期付職員の提案があったが、採用になっていない。理事があわせて担うことになるのか。

答 任期付職員を2度にわたり募集しましたが、非常に難しい役割であるため採用となりませんでした。そのため、しっかり対応できる方を県から招致したのが現状です。

■その他の質問項目

- ・小・中学校について
- ・こども園について
- ・加西インター産業団地について
- ・特別定額給付金給付事業について

新型コロナウイルス感染症対策の商工振興について



北川 克則 議員
(令和新風加西)

問 加西市小規模事業経営持続支援金の状況と今後の見通しについて。

答 6月4日現在の申請総数は139件、うち交付手続が完了したものは100件となります。製造業の申請件数が1番多く、続いてサービス業、小売業と続く状況です。県の当初の休業要請期間に合わせて、4月の売り上げだけで支援金の交付対象になるかどうかを判定していましたが、休業要

請期間が5月31日まで延長されたため要件を見直し、対象月を4月または5月としました。支援金の交付は1事業者につき1回としていますが、今後も新型コロナウイルス感染症による地域商業のダメージの影響が続いていく状況であれば、再度の募集も検討したいと考えます。

問 再度の募集とは、2回目の申請ができるということか。

答 6月以降も引き続いて売り上げの減少が続く場合は6月、7月等で、また20%以上50%未満の売り上げの減少が起きた事業所について、もう一度10万円の交付ができないか現在検討しています。

問 融資保証料負担の現在の進捗について。

答 当初見込んでいた5,000万円を上回る申し込みがあり、今回3,000万円の補正をしています。資金等の運用に活用していただいていると考えています。

意見 特にメーカー関連の下請けをしている事業者は、大手の休業による影響で6月も引き続いてダメージを受けているので、漏れのないよう支援の手を届けていただきたい。6月、7月の支援も期待します。

■その他の質問項目

- ・公共交通について
- ・加西市総合支援アプリについて